

株式会社レスターホールディングス

2021年 3 月期第 3 四半期
決算補足説明資料

2021年 2 月12日



2021年 3 月期第 3 四半期（累計） 連結業績ハイライト

業績ハイライト

(単位：百万円)

	2020年 3 月期 3 Q (累計)		2021年 3 月期 3 Q (累計)		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減金額	増減率
売上高	294,618	－	234,827	－	△59,790	△20.3%
売上総利益	19,428	6.6%	19,163	8.2%	△264	△1.4%
販管費	14,364	4.9%	14,279	6.1%	△85	△0.6%
営業利益	5,063	1.7%	4,884	2.1%	△179	△3.5%
経常利益	7,240	2.5%	4,346	1.9%	△2,893	△40.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	5,779	2.0%	7,267	3.1%	1,488	25.8%

※2020年 3 月期 3 Q (累計)、2021年 3 月期 3 Q (累計) とともにのれん償却額及び無形資産償却額を含みます。

12月決算である海外子会社の決算取込みを調整：2020年 3 月期 3 Q (累計) には対象会社の2019年 1 月から 3 月の増額分を含みます。

売 上 高 ：世界規模での生産停滞や消費者需要の低迷の影響により、前年同期比では減収

売上総利益：プロダクト・ミックスの改善等により売上総利益率は向上

営業利益 ：販売管理費の抑制とともに営業利益率も改善

経常利益／親会社株主に帰属する四半期純利益：

前期は「持分法による投資利益」（営業外収益）の大幅な増額分を計上

今期は上記に関連する投資有価証券売却益38億円の計上（特別利益）により

税引前利益以下は増益

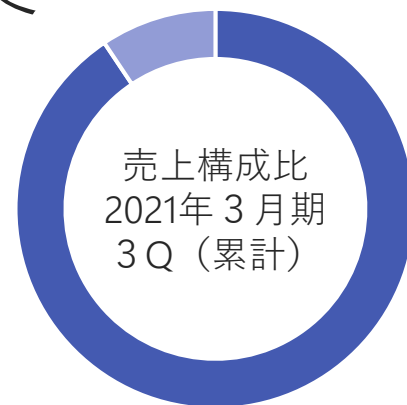


半導体及び電子部品事業

■ デバイス ■ E M S

(単位：百万円)

	2020年 3 月期 3 Q (累計)	2021年 3 月期 3 Q (累計)	前年同期比	
	金額	金額	増減金額	増減率
売上高	215,954	165,540	△ 50,414	△23.3%
セグメント利益	3,601	5,557	1,955	54.3%



※2020年 3 月期 3 Q (累計)、2021年 3 月期 3 Q (累計) とともにのれん償却額及び無形資産償却額を含みます。
12月決算である海外子会社の決算取込みを調整：2020年 3 月期 3 Q (累計) には対象会社の
2019年 1 月から 3 月の増額分を含みます。

■ デバイス事業

・緩やかな回復が見られるが、民生向け需要の低下や車載関連の生産調整を主因として売上高は減収

■ EMS事業

・決算期変更等に伴う影響（増額分）の計上（前期）とスマートフォン向け部品・モジュール等の需要減少により減収

* セグメント利益

・販売管理費の抑制並びに新規事業の立上げによる利益寄与により増益

* 今後はシステム提案やリカーリング等、高付加価値案件の獲得を促進

調達事業

■ 調達

(単位：百万円)

	2020年 3 月期 3 Q (累計)	2021年 3 月期 3 Q (累計)	前年同期比	
	金額	金額	増減金額	増減率
売上高	57,207	52,007	△ 5,199	△9.1%
セグメント利益	332	△ 158	△ 491	－

※2020年 3 月期 3 Q (累計)、2021年 3 月期 3 Q (累計) とともにのれん償却額及び無形資産償却額を含みます。

売上構成比
2021年 3 月期
3 Q (累計)

■ 調達事業

- ・顧客の生産低下や新規取引における開発遅延等の影響により売上高は減収
- ・売上総利益が改善したが、減収の要因が大きく減益

* 主要顧客向けの需要回復を見込むとともに、調達機能の更なる拡大に向けた各種の取組みを推進

電子機器事業

■ 電子機器 ■ システム機器

(単位：百万円)

	2020年 3 月期 3 Q (累計)	2021年 3 月期 3 Q (累計)	前年同期比	
	金額	金額	増減金額	増減率
売上高	15,498	12,315	△ 3,182	△20.5%
セグメント利益	372	148	△ 224	△60.2%

※2020年 3 月期 3 Q (累計)、2021年 3 月期 3 Q (累計) とともにのれん償却額を含みます。



■ 電子機器事業

- ・教育関連は引き続きオンライン授業の普及により売上が堅調に推移、企業向けでは放送機器や計測機器の案件見直し並びに納期遅延の影響等により、売上高は減収

■ システム機器事業

- ・決済用キャッシュレス端末（非接触型端末）の需要が堅調に推移

* 新様式に対応したビジネスの拡大、公共・企業向けのデジタル化案件の獲得、非接触通信等の技術を活用した新規端末開発を推進

環境エネルギー事業

■ 発電 ■ 新電力 ■ 植物工場

(単位：百万円)

	2020年 3 月期 3 Q (累計)	2021年 3 月期 3 Q (累計)	前年同期比	
	金額	金額	増減金額	増減率
売上高	8,114	7,127	△ 986	△12.2%
セグメント利益	410	△ 32	△ 442	－

※2020年 3 月期 3 Q (累計)、2021年 3 月期 3 Q (累計) とともにのれん償却額及び無形資産償却額を含みます。



■ エネルギー事業

・国内・海外の新規太陽光発電が堅調に推移、風力発電も順調に売電を開始、一方部品販売は減少

■ 新電力事業

・官需関連の電力需要低下等により売上高が減少の中、採算を重視した展開を進める

■ 植物工場事業

・コンビニエンスストア向けの需要は拡大、一方価格競争は激化。外食向けを中心に需要低下も見られた

* 今後も再生可能エネルギーの活性化に向けた様々な展開を進めるとともに、
植物工場事業では生産の最適化に向けた各種の取組みを強化

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2020年3月末	2020年12月末
資産の部		
流動資産	133,937	137,996
固定資産	63,116	48,737
資産合計	197,053	186,733
負債純資産の部		
流動負債	103,432	89,343
固定負債	19,852	18,125
純資産	73,768	79,263
負債純資産合計	197,053	186,733
自己資本比率	35.7%	40.8%

通期見通し及び進捗率

(単位：百万円)

	2021年 3 月期 3 Q	2021年 3 月期 通期見通し	進捗率
	金額	金額	
売上高	234,827	350,000	67.1%
営業利益	4,884	6,000	81.4%
経常利益	4,346	6,000	72.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,267	8,000	90.8%

- ・各事業の構造改革を継続
- ・業務提携等を含めた積極的な成長戦略と新たなビジネス拡大の推進を更に加速
- ・各種のデジタル化促進の展開を強化
- ・社会課題の解決に直結する様々な取組み（IoTビジネス、再生可能エネルギー普及、食の安定供給、地方創生等）の一層の進展

※通期の見通し（20年11月12日公表）に変更はございません。

株主還元

連結業績予想に基づき財務の安定性を重視

- ・増配の実施や自己株式取得の検討等、株主への還元向上
- ・積極的な戦略投資とともに、適正な資本配分の継続的な見直しを進める
- ・一層の利益の拡大と資本効率の改善を通じた企業価値向上の実現を目指す

	1株当たり配当金（円）		
基準日	第2四半期	期末	合計
配当予想 (2021年3月期)	35円00銭	50円00銭 (普通配当 35 円 00 銭) (期末特別配当 15 円 00 銭)	85円00銭 (普通配当 70 円 00 銭) (期末特別配当 15 円 00 銭)

※今期の配当予想（20年11月12日公表）に変更はございません。

エレクトロニクスの情報プラットフォーム

世界中の課題を解決する

革新的ビジネス
の創出

情報×技術
付加価値の向上

事業間シナジー

多様な事業展開

< 事業TOPICS >

1. Society 5.0 に向けた取組み

～日本IBMと共同プレマーケティングを開始

2. 事業活動を通じた社会課題の解決

～世界の持続的な発展に向けた取組み

1. Society 5.0 に向けた取組み ①

様々な現場のデータ取得～蓄積・分析・可視化するサービスで、
日本IBM社と共同プレマーケティングを開始

※Society 5.0とは：デジタルテクノロジー技術を用い、経済発展と社会的課題の解決を両立する社会のこと



SPRESENSE
エッジデバイス

ソニーセミコンダクタ
ソリューションズ

フレキシブルな機能拡張
(GNSS・通信・センシング・カメラ)

IoTデバイスとクラウドのパッケージ提案で、
お客様の『やりたい事』をスピーディーに実現
(費用、開発工数の削減等)

レスターエレクトロニクス
グループシナジーで課題解決を支援
(開発・製造の技術支援・コンサル)



日本IBM



IBM Maximo

クラウドサービス

AIによる異常検知、
大規模データの
リアルタイム可視化

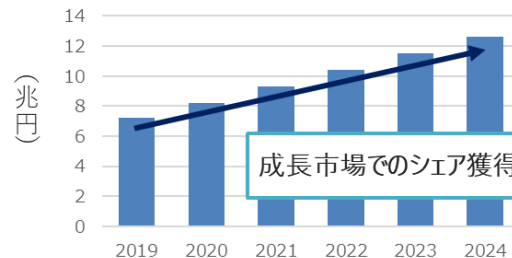
幅広い分野の現場業務を支援

予防・予知保全 見守り支援 異常検知 災害危機対策 CO2濃度測定



企業資産の管理を支援

国内IoT市場 支出額予測 CAGR：12.1%



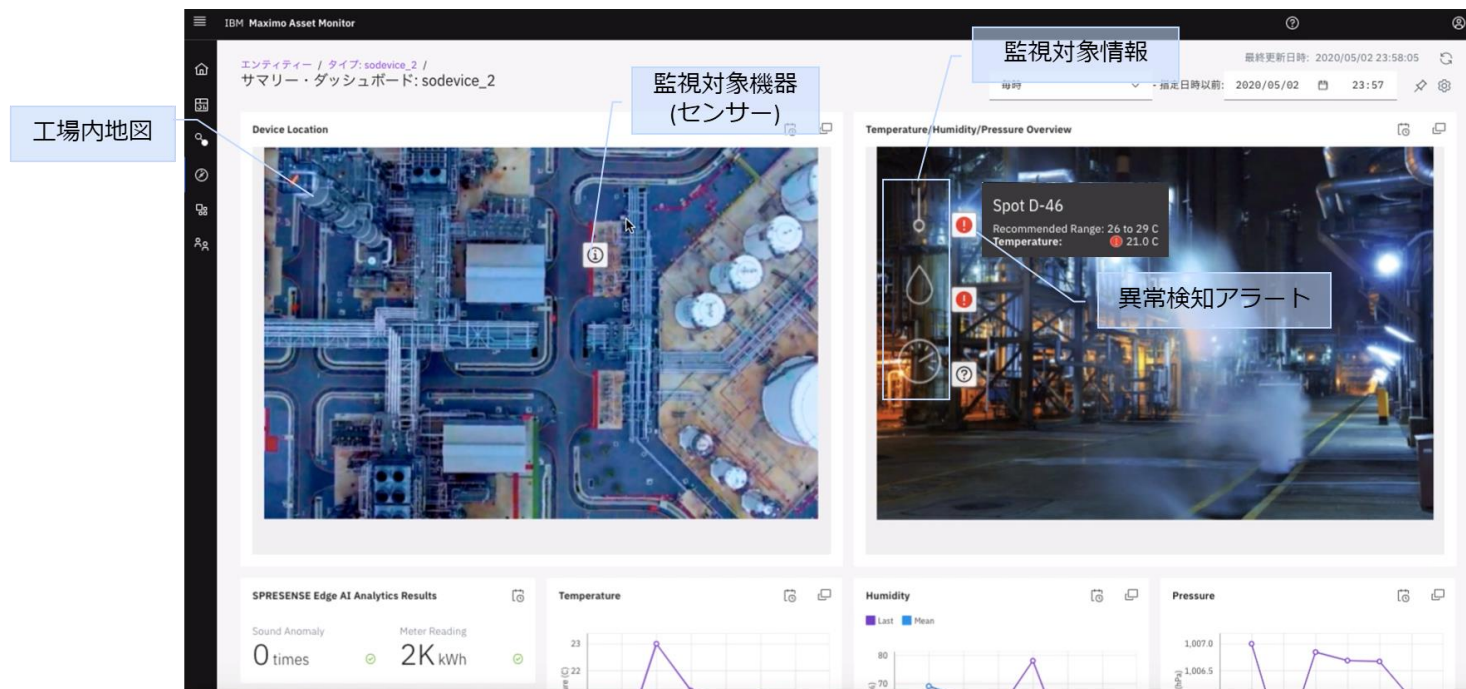
出典：IDC Japan, 4/2020

本件に関するプレスリリースはこちら > <https://www.restargp.com/news/1535/>



1. Society 5.0 に向けた取組み ②

Maximo Asset Monitor : ダッシュボードイメージ



センサーにより取得したデータをリアルタイムで可視化

2. 事業活動を通じた社会課題の解決

レスターグループはSDGsの活動による具体的な取組みを通じて、世界の持続的な発展に貢献します。

SDGsの取組みを実際の事業に結びつけて、ビジネス機会の創出と社会貢献の両立を目指して行きます。

具体的な事業

関連するSDGs



クリーンエネルギーの供給

2021年 1 月末時点

国内メガソーラー53箇所、約140MW発電

国内自社メガソーラー発電所、風力発電所で作られた電力を供給。
『環境・エネルギー問題』に対し、再生可能エネルギーの普及・拡大を通じて 低炭素社会・持続可能な分散型社会の実現に貢献。



新しいビジネス形態の創出

パートナー企業との協業のもと、医療用ガウンの製造・供給の運用オペレーションスキームを構築。新型コロナウイルス拡大予防に寄与したとして経済産業省より感謝状を授与。



医療現場への映像ソリューション

手術室内の映像を記録し、カメラを操作するシステム（非接触パネル）を医療機関に提供。
最先端医療への映像ソリューションの提供で、医療現場の質向上に貢献。



レスターグループ 経営理念

ミッション

情報と技術で、新しい価値、サービスを創造・提供し、
社会の発展に貢献します

ビジョン

あらゆるニーズに対応できる
「エレクトロニクスの情報プラットフォーマー」を目指します
世界・社会貢献・共創と革新

バリュー

- ・多様な考えを受け入れ共創を通じて新しい文化や価値を創り出します
- ・常に高い目標を掲げて革新的な発想と情熱で挑戦し続けます
- ・活躍の場を世界へと広げ持続可能な社会の発展に貢献します

<お問い合わせ先>

広報・CSR・IR部 高嶋、吉田、榊原

Mail to : irpr@restargp.com

<将来の見通しに関する注意事項>

このプレゼンテーションに掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略は、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、様々な外部要因、内部要因の変化により、これらの業績見通しとは異なる結果となる可能性があります。

実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、世界・日本経済の動向、急激な為替相場の変動ならびに戦争・テロ活動、災害や伝染病の蔓延等があります。